

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	2772418
施設名(園名等)	学校法人八王子キリスト学園 八王子幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動遊び

<テーマの設定理由>

普段から自由遊びの中で、園庭の太鼓橋に挑戦する姿が多く見られていた。特に年少児は一人で渡り切るのは難しく、年上の子どもたちの渡り切る姿をよく見て、挑戦する姿があった。また別に、太鼓橋に砂場のネットをかぶせてテントごっこを楽しむ姿もあった。

一方で、雨天時など園庭遊具が使用できない日はどうしてもダイナミックに身体を動かして遊ぶことができなかったことや、園庭の木に登ろうとする姿も見られたので、ボルダリングでの運動遊びもテーマに設定した。

2. 活動スケジュール

2025年5月～ 園庭で太鼓橋で遊ぶ
・年上の子どもの姿を見て、真似しながら太鼓橋に挑戦

10月～ ボルダリング壁に挑戦
・教師に見守られながら頂上を目指して頑張る人が多い。

2026年2月 太鼓橋、ボルダリングそれぞれできる人が増える。

3. 探究活動の実践 <活動の内容>・活動のために準備した素材や道具、環境の設定・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

・太鼓橋は園庭に常設されているため、自由遊びの時間はたくさんの子どもたちが登っている姿があった。「手を前に出して」「足はこっちにして」など教師が見守りながら関わっていると、そのうち子どもたち同士で一緒に取り組む姿も増えてきた。ネットをかぶせてのテントごっこも、自分たちでネットを運んだり、中にテーブルや椅子を並べたり声を掛け合いながら一緒に楽しむ姿が見られた。

・ボルダリング壁も遊戯室に常設されているため、自由に取り組む姿が多く見られた。年中年長児は一人で登ることができる姿もあり、あこがれた年少児も日々挑戦する姿があった。



2
す



4. 振り返り

・太鼓橋は教師が勧めなくても自ら挑戦する姿があり、目と足を連動して動かしていくことで集中力も養われて、どこまでなら安全か子どもなりに判断することでリスク管理能力も身に付き、子どもの運動機能の発達にとっても良い遊具だと感じた。

・ボルダリングも、落ちないように、より高いところまでいけるように、高い集中力を持って取り組む姿が見られ、また、パズルのように次はどこに自分の手足を置いたら良いか考えながら進む姿も見られ、子どもたちの考える力を養うのにとっても良い遊具だと感じた。

・太鼓橋、ボルダリングのどちらとも子どもたち同士でのやり取りや関りは思ったより少なかったが、子どもたちが意欲を持って、黙々と集中して取り組む姿や、達成感で自信のつく姿が見られた。